

□「住民参加のさらなる進化に向けて」目次(案)

目 次

はじめに

第1章 河川管理者による意見聴取・反映の現状とその評価

- 1-1 文書と説明会による手法とその評価
 - 1-1-1 媒体を利用した意見聴取・反映を検証する
 - 1-1-2 説明会による意見聴取・反映を検証する
- 1-2 対話会議による手法とその評価
 - 1-2-1 ワークショップによる意見聴取・反映を評価する
 - 1-2-2 円卓対話討論会による意見聴取・反映を検証する
 - a) 採用したテーマは適切であったか
 - b) 会議の運営は住民意見聴取に適していたか
 - c) ファシリテーターは目的にかなう適任者であったか
 - d) 会議参加者の評価と参加できなかった住民への応答は適切であったか
 - 1-2-3 対話討論会を進化させるために総合評価する
- 1-3 意見聴取・反映の視点からの各種委員会の検証

第2章 住民参加のさらなる進化に向けて

- 2-1 河川整備に向けた意見聴取のあり方
 - 2-1-1 意見聴取のためのさまざまな手法を考察する
 - 2-1-2 望ましい意見聴取とは
- 2-2 望ましい住民意見の反映に向けて
 - 2-2-1 住民の声を理解するために
 - a) 窓口の常設と広報活動の必要性について
 - b) 住民と河川管理者との協働を推進する
 - 2-2-2 住民意見反映のための有効な方法
 - a) 専門部署の設置と人材育成の必要性について
 - b) 住民の真意を伝えるために専門家パネルの設置を
 - 2-2-3 望ましい聴取・反映に向けて
 - a) 管理者自らの評価が重要
 - b) 住民に対する応答が必要

第3章 社会的合意についての考察

- 3-1 住民参加における合意とは
- 3-2 委員会が提言した社会的合意とは

おわりに